

平成 28 年 9 月 28 日
練馬区地域医療課

平成 28 年度死亡小票分析の実施について

1 概要

これまで過去 3 か年（平成 23～25 年）の分析を行ってきた死亡小票について、今年度は新たに 2 か年分（平成 26, 27 年）の分析を以下のとおり実施する。

本分析により、練馬区における看取りの実態把握を経年で把握することで、今後の在宅療養推進のための基礎資料とする。

2 現在の進捗

現在、厚生労働省に対して死亡小票の開示を請求中。承認が下り次第分析を開始する。

3 分析の概要

分析対象データ	分析できる数値および読み取れる動向
人口動態調査死亡小票 (死亡場所・死因等のデータ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅での看取り件数の変化 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 在宅療養の普及度 ・ 区内医療機関による自宅看取り件数 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 在宅支援診療所等の資源量 ・ 死亡場所別死亡者数の把握 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 将来的な在宅療養患者数の推計 等
患者調査 (病院入院奇数票、病院退院票等のデータ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者の住所地（区内外）の把握 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 病床看取りが可能な区民数の推計 ・ 区内病床の入院患者の転帰先の把握 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 自宅へ退院できる患者の年齢・疾患動向 等
医療施設静態調査 (病院票、一般診療所票等のデータ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅療養支援診療所・病院の届け出状況等の把握 ・ 退院支援体制の把握 ・ 歯科診療所による訪問歯科診療実施体制の把握 等

4 今後のスケジュール

- ・ 28 年 10 月 : 死亡小票の開示承認（想定）
- ・ 28 年 10～12 月 : 死亡小票分析
- ・ 29 年 1 月 : 在宅療養専門部会において分析結果報告

5 平成 26 年度死亡小票調査結果

参考のとおり